

燦 san

能楽 喜多流

第十五回 燦ノ会

おはなし 馬場 あき子

狂言 萩大名 山本 則重

能 天鼓 友枝 真也

2019年10月13日(日)午後2時開演(午後1時開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

東京都品川区上大崎 4-6-9 電話 03-3491-8813

S席 ¥6,000 / A席 ¥5,000 / B席 ¥4,000 / 二階自由席 ¥2,000

主催 燦ノ会 <http://www.sannokai.net/>

佐々木 多門 大島 輝久 友枝 真也

十五



番組

おはなし

馬場 あき子

大江山

佐々木 多門

枕慈童

大島 輝久

谷 友矩

内田 成信

狩野 了一

佐藤 寛泰

狂言

萩大名

シテ・大名

山本 則重

アド・太郎冠者

山本 則秀

アド・庭主

山本 則俊

休憩

能

天鼓

後シテ・天鼓  
前シテ・天鼓の父

友枝 真也

ワキ・勅使

大日方 寛

大鼓 柿原 光博 太鼓 林 雄一郎  
小鼓 観世 新九郎 笛 佐鴻 泰弘

間狂言・官人

山本 則秀

後見

狩野 了一  
佐藤 寛泰

地謡

大島 輝久 友枝 雄人  
金子 敬一郎 香川 靖嗣  
内田 成信 友枝 昭世  
佐々木 多門 中村 邦生

終了予定五時半前頃

燦ノ会とは

「燦・産・三」  
我々三人は、能楽喜多流の同期として歩んでおります。  
会を立ち上げ、ともに目指すものは今この時に研鑽し合い、個々としても、会としても「燦」の輝きを放つこと。  
そこから「産」につながつていくこと。  
意義ある活動の場とすべく「三」の力を合わせてまいります。



馬場あき子 (ばば・あきこ)



1928年東京生まれ。歌人、文芸評論家。1947年歌誌「まひる野」入会、喜多流十五世宗家喜多実入門。78年岩田正と「かりん」創刊、現在発行人。日本芸術院会員。朝日新聞歌壇選者。古典文学や能の造詣を背景に独自の歌風を展開する。歌集『早笛』『阿古父』など27冊。評論『鬼の研究』『式子内親王』『能よみがえる情念』など多数。

あらすじ

萩大名(はぎだいみょう)  
上洛中の田舎大名が太郎冠者の薦めで、萩の評判の庭を見物に行きます。無風流な主人のために太郎冠者は「七重八重(ななえやえ)九重(ここのえ)こそ思いしに十重とよ咲きいづる萩の花かな」という萩の花を愛でる和歌をあらかじめ教えます。この和歌一首をそらんじるのに苦勞する大名でしたが……。

天鼓(てんこ)

後漢の時代、王伯と王母という夫婦がいました。王母は天から鼓が胎内に降る夢を見て、懐胎したので生まれた男の子を天鼓と名付けます。その後実際に天鼓の元に鼓が天から降り下り、これを天鼓が打つと妙音で鳴ったので、大評判になります。これを聞いた帝は鼓を召し上げようとします。天鼓は鼓を惜しんで逃げ隠れますが、やがて捕らえられ勅命に背いた罪で瀧水という江に沈められてしまいます。残された鼓は誰が打っても鳴らず、帝は父の王伯を呼び出します。王伯が打つと天鼓と同じ音を響かせたので、親子の契りに帝は感動し、王伯には数の宝を与え、瀧水のはとりで天鼓を弔うことにします。法事の中、天鼓の亡霊が現れ弔いに感謝し鼓を打ち戯れて、夜明けと共に消えて行くのでした。

お知らせ

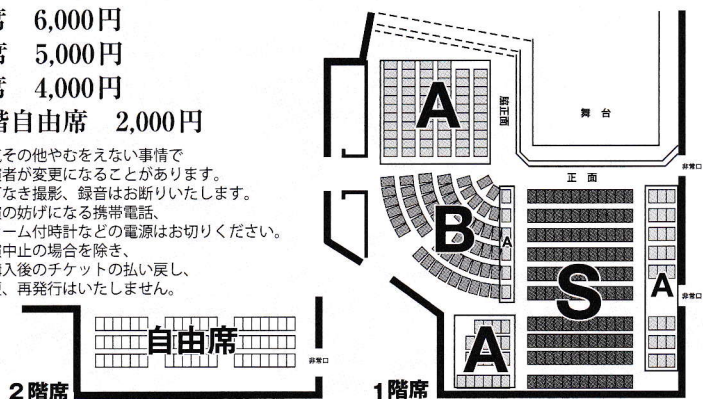
切符のご購入、ならびに公演のお問合せはホームページから、またはお電話で喜多能楽堂までお願いいたします。●燦ノ会ホームページ <http://www.sannokai.net/>

予約開始 2019年8月5日(月) 午前10時～

チケットのご案内

S席 6,000円  
A席 5,000円  
B席 4,000円  
二階自由席 2,000円

※病気その他やむをえない事情で出演者が変更になることがあります。  
※許可なき撮影、録音はお断りいたします。  
上演の妨げになる携帯電話、アラーム付時計などの電源はお切りください。  
※公演中止の場合を除き、ご購入後のチケットの払い戻し、変更、再発行はいたしません。

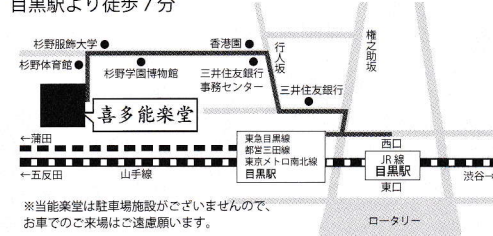


お申込み・お問合せ

公益財団法人 十四世六平太記念財団  
十四世喜多六平太記念能楽堂  
〒141-0021 東京都品川区上大崎 4-6-9  
TEL: 03-3491-8813

交通案内

JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分



※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。